

燕市独自の電力・ガス・食料品等 価格高騰対策を実施します

生活者支援



事業者支援

電力・ガス・食料品等価格高騰により影響を受けている市民生活や事業活動を支援するため、フェニックスクーポン第5弾を全世帯に配付するほか、子育て世帯や農業者などへの各種支援を実施します。



燕応援フェニックスクーポン 発行事業（第5弾） 【詳しくは29ページ】	1億6,081万円	市民生活や経済活動を下支えするため、市内登録店舗で利用できる6,000円分のクーポン券を全世帯に配付します。
子育て応援臨時給付金支給事業 【詳しくは20ページ】	1億2,000万円	子育て世帯の負担軽減を図るため、18歳以下の子どもを対象に、一人当たり1万円の給付金を支給します。
低所得世帯への灯油等購入費 助成事業 【詳しくは20ページ】	3,600万円	冬場の灯油等暖房費の負担軽減を図るため、住民税非課税世帯等に、1世帯当たり5,000円の助成金を支給します。
肥料価格高騰対策事業	3,114万円	肥料価格高騰の影響を受けた農業者を支援するため、国の肥料価格高騰対策事業の採択を受けた農業者を対象に補助金を支給します。
公衆浴場燃料価格高騰対策事業	75万円	燃料価格高騰の影響を受けている公衆浴場を支援するため、県が行う燃料価格高騰対策補助金に上乗せして補助金を支給します。

令和4年度予算の執行状況をお知らせします

今年度中に市に入ってくるお金（歳入）や使うお金（歳出）が、9月末現在でどのような状況になっているのかをお知らせします。負担金や使用料・手数料など歳入を確保するとともに、歳出では執行の効率化を図りながら、財政の健全化に努めています。

令和4年度 一般会計予算の執行状況（令和4年9月30日現在）

歳入	予算現額	収入済額	収納率	歳出	予算現額	支出済額	執行率
市税	103億 645万円	58億 891万円	56.4%	民生費	124億4,648万円	40億2,285万円	32.3%
市債	100億1,199万円	10億 659万円	10.1%	公債費	116億9,175万円	32億8,134万円	28.1%
地方交付税	78億6,480万円	50億7,960万円	64.6%	総務費	61億5,149万円	13億6,139万円	22.1%
国庫支出金	70億1,922万円	8億5,957万円	12.2%	教育費	61億5,820万円	20億7,479万円	33.7%
繰入金	40億1,766万円	0万円	0.0%	衛生費	48億4,943万円	17億3,645万円	35.8%
寄附金	25億5,340万円	8億6,210万円	33.8%	土木費	42億7,176万円	20億5,284万円	48.1%
県支出金	30億8,182万円	4億9,232万円	16.0%	商工費	22億4,823万円	10億7,267万円	47.7%
地方消費税交付金	20億 0万円	10億9,694万円	54.8%	消防費	17億1,098万円	8億2,699万円	48.3%
繰越金	21億5,304万円	21億5,304万円	100.0%	農林水産業費	11億9,850万円	4億6,792万円	39.0%
その他	22億4,564万円	6億5,754万円	29.3%	その他	5億2,720万円	1億3,365万円	25.4%
合計	512億5,402万円	180億1,661万円	35.2%	合計	512億5,402万円	170億3,089万円	33.2%

基金の状況（令和4年9月30日現在）

基金	現在高	市民1人当たり
財政調整基金	31億8,407万円	41,071円
減債基金	8億1,461万円	10,508円
その他特定目的基金	39億3,485万円	50,755円
土地開発基金	9,169万円	1,183円
その他定額運用基金	84万円	11円
その他基金（特別会計）	18億1,088万円	23,358円
合計	98億3,694万円	126,886円

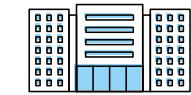
借入金の状況（令和4年9月30日現在）

会計名等	現在高	市民1人当たり
一般会計	417億4,096万円	538,412円

※市民1人当たりは令和4年9月30日現在の人口77,526人で計算



●問合せ 企画財政課 財政チーム ☎ 0256・77・8356



燕市役所まちあそび部

よ会

まちあそび学会

12/26 10:00~16:00 中央公民館・文化会館

●問合せ 地域振興課 交流推進係 ☎ 0256・77・8364

まちあそび学会 ABOUT

社会をすこし 逸脱してみる



まちを舞台に高校生が自由な発想で活動している「燕市役所まちあそび部」が、活動を体験してもらおうイベント「まちあそび学会」を開催します。テーマは、「社会をすこし逸脱してみる」。「やってみたくけれど普段なかなかできないこと」をプログラムに盛り込み参加者に体験してもらいます。

また、テレビコメンテーターの若新雄純さんを迎え、高校生とともに、講演会や発見を共有するワークショップなどを行います。



まちあそび部



イベント詳細は、まちあそび学会特設サイトをご覧ください。

主な内容

- 10:15～まちあそび体験ブース
- 12:30～ランチタイム
(まちあそび部オリジナル弁当)
- 13:30～意見交換会(交流ワークショップ)
- 15:00～若新さん講演会

対象者

※県内外問いません
高校生、専門・短大生、大学生、自治体職員、教職員、まちづくりに興味のある人

定員

150人（お弁当代が別途必要です）
参加申込みはこちら▶



コーディネーター

わか しん ゆう じゅん
若新 雄純 さん

（メディア出演）

ワイド!スクランブル（テレビ朝日）、サンデーヤпон（TBS）、Nスタ（TBS）、ABEMA Prime（AbemaTV）など



株式会社 NEW YOUTH 代表取締役、慶應義塾大学特任准教授。自治体や企業などにおいて政策や新規事業を多数企画・実施し、地域・コミュニティ開発をはじめ、さまざまな現場でフィールドワークを行う。テレビコメンテーターとして、数多くの番組で活躍。令和2年度から燕市役所まちあそび部のコーディネーターを務める。